

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	朝霧フードラボ	事業所番号	2217230149
住 所	静岡県浜松市西区志都呂二丁目12-19	管理者名	川瀬 弘樹
電話番号	053-543-4110	対象年度	令和3年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>場所： 静岡県浜松市西区庄和町 ホットファームトマト農場 静岡県浜松市東区笠井町 ホットファームレタス農場</p> <p>日程： 月曜日～土曜日で作業内容に応じて、調整して作業を行う</p> <p>活動内容： トマト、レタスの栽培～収穫に関する作業をハウス内、外で行う。栽培記録や納品書の確認、データ入力を行う。</p> <p>利用者数： トマトハウス ～3名、レタスハウス 2名、事務作業 1名</p>	<p><活動の様子></p>  <p>主にハウス内での栽培から収穫までの作業を年間を通して行っています。出荷作業も委託を受けて行っています。</p>
<p><目的></p> <p>農福連携を通して、自身が消費者という立場だけでなく、生産者としても、地域で生活していくイメージを持てるようにしていく。</p> <p>企業、地域が求める力をつけていく。</p>	 
<p><成果></p> <p>結果： 自分の働く場所、役割がある場所がある ことで訓練を行う意味の確認ができている。</p> <p>成果： 働く上でのルールなどを決めていくことで、自身の役割などを確認して動いていくことができる。</p> <p>課題： 会社で雇用されている方とコミュニケーションをとりながら行うといったことが希薄になっている。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

栽培技術、チームワーク、ハウレンソウの3つ視点を意識していけるようお願いしています。

- ・栽培技術面では、個人差はあるものの栽培技術は一つ一つできることが増えている。
- ・チームワークでは各ブロック毎に計画の期日内に終わることができている。メンバー内で声掛けしながら確認もできている。
- ・ハウレンソウは、ミスや破損等したことについて、その都度報告連絡相談があるので助かっている。

連携先企業名	ホットファーム(株)	担当者名	志賀口 裕輔
--------	------------	------	--------

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	朝霧フードラボ
住 所	静岡県浜松市西区志都呂二丁目12-19
電話番号	053-543-4110

事業所番号	2217230149
管理者名	川瀬 弘樹
対象年度	令和3年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>静岡県浜松市西区庄和町2476-1 場所： 社会福祉法人 和光会 朝霧の園</p> <p>日程： 月曜日～土曜日（朝霧フードラボのカレンダー）で作業を行う</p> <p>活動内容： 施設内の清掃、朝霧の園利用者のシーツ交換、居室清掃</p> <p>利用者数： 4名</p>	<p><活動の様子></p>  <p>施設内の清掃、シーツ交換を行うだけでなく、高齢の利用者との関わりがあることで、働くことのやりがいを感じることができている。</p>
<p><目的></p> <p>地域の介護現場でもマンパワー不足がある中で、就労訓練として、高齢者の介護だけではない、介護現場を支える働き方の方法を知り、力、技術を身につけていく。</p> <p>企業、地域が求める力をつけていく。</p>	
<p><成果></p> <p>結果： 自分たちの役割を見つけることが出来、働くやりがいだけでなく利用者（高齢者）とのコミュニケーションも図れている。</p> <p>成果： 継続して訓練を行ってきたことで、仕事のやりがいや自身の目標になっているところがある。</p> <p>課題： 作業の優先順位を決めながら進めることはできているが、一般に働いている方の基準には届かず、課題がある。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

朝霧フードラボと連携し、施設内で入居されている利用者のベッドメイキングをお願いしております。利用者、職員共にすでに顔なじみの関係ができており、笑顔で話をする姿から職員は初心を取り戻すことができ、利用者は日々の生活に張りがをもって過ごせるようになりました。コロナの感染症の対策もマンパワー不足の中ですが朝霧フードラボの協力により対応できております。

連携先企業名	社会福祉法人 和光会 朝霧の園	担当者名	施設長 松本昌久
--------	-----------------	------	----------